

Int. Cl.

原簿記号

庁内整理番号

発明公告

昭和63年(1988)5月6日

H 04 R 1/10
A 41 D 21/00

103

7214-5D
7149-3B

(全3頁)

④考案の名称 防音用耳あて・ヘッドホーン等のヘッドバンド

④実 施 昭57-78393

④公 開 昭58-187594

④出 願 昭56(1982)5月29日

④昭58(1983)12月5日

④考 案 者 西 沢 正 治 東京都台東区浅草橋4丁目6番8号
 ④出 願 人 西 沢 正 治 東京都台東区浅草橋4丁目6番8号
 ④代 理 人 弁 理 士 佐々木 功
 考 査 官 大 野 寛 美

④実用新案登録請求の範囲

一方端に筒状部が形成された二枚の張状ばね体をそれぞれ筒状部の筒状部に互いの張状ばね体を選択して配設すると共に、必要張ばね体の他方端に耳あて本体あるいはレシーバーに取付けられる緩衝部を一端に有する連結片の一端を回転自在に配設したことを特徴とする防音用耳あて・ヘッドホーン等のヘッドバンド。

考案の詳細な説明

本考案は、防音用耳あて・ヘッドホーン等の本体連結部に供するヘッドバンドの改良に関する。従来のこの防音用耳あて・ヘッドホーン等の本体連結部に供するヘッドバンドは二枚の張状ばね体の一方端に筒状部を形成し、この筒状部に互いの張状ばね体を選択して互いの張状ばね体の真なる端部を固定させて長き距離を行うようにした。

しかし、上記ヘッドバンドは確かにヘッドバンドの長さ調節を行うだけであつたため吸収、保管する際に煩雑でしまい不便であつた。

本考案は上記の点に鑑みられたもので、吸収、保管時に煩雑なことをないように長き距離と折り畳みが行えるようにした防音用耳あて・ヘッドホーン等のヘッドバンドを提供するものであつて、その要旨とするところは一方端に筒状部が形成された二枚の張状ばね体をそれぞれの筒状部に互いの張状ばね体を選択して配設すると共に、張状ばね体の他方端に防音用耳あて本体あるいはレシーバーに取付けられる緩衝部を一端に有

する連結片の他端を回転自在に配設したことを特徴とする防音用耳あて・ヘッドホーン等のヘッドバンドにある。

以下、本考案を添図を参照して詳細に説明する。

第1図は本考案の防音用耳あて・ヘッドホーン等の本体連結部に供するヘッドバンドの一実施例を示す斜視図、第2図は防音用耳あてに適用したヘッドバンドを折り畳んだ状態を示す斜視図、第3図は耳あて本体とヘッドバンドとの接続状態を示す断面図で、第1図乃至第3図において、1は防音用耳あてあるいはヘッドホーン等の本体連結部に供するヘッドバンドにして、これは一方端に筒状部2が形成された二枚の張状ばね体3のそれぞれ互いの張状部2を選択し、かつそれぞれの張状ばね体3の他方端に連結片4の一端を回転自在に配設したもので、この連結片4の他端には左右の耳あて本体5あるいはヘッドホーン本体(図示せず)の緩衝部6によって保護され、防音用耳あてあるいはヘッドホーンが構成されることになる。

しかして、本考案のヘッドバンド1は二枚の張状ばね体3のそれぞれの筒状部2に互いの張状ばね体3を選択すると共に、他方端を連結片4を介して耳あて本体5に接続したものであるため、二枚の張状ばね体3の真なる端部を固定させて長き距離を行うことができると共に、防音用耳あてIを吸収、保管する場合には二枚の張状ばね体3の他方端にそれぞれに連結片4を折り畳むように

3

動させて左右の耳あて本体3に對しそれぞれの強
 弱ばね2を平行に配することにより、第2図に
 示すように大強弱に耳あて本体3が強弱ばね2
 を挟んで對置することになり、耳あて1を異常に
 コンパクトに折り込むことができるとある。

以上述べたとおり本考案のヘッドバンドは一方
 端に強弱部が形成された二枚の強弱ばねのそれ
 それを並べた強弱部に選擇すると共に、強弱ば
 ねの他方端に同軸自在に連結片の一端を固定
 し、この連結片の他端には耳あてあるいはヘッド
 ホーン等の本体が係着機構を介して結合されてい
 るので、二枚の強弱ばねの重なる部を可変す
 ることによりヘッドバンドの長さ調整を行うこと
 ができ、かつ耳あてあるいはヘッドホーン等の本
 体に対して平行に強弱ばね体を配することにより

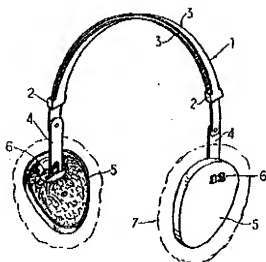
前記左右の本体を強弱ばね体を挟んで對置するこ
 とができ、よつてこのヘッドバンドによつて連結
 された両本体は非常にコンパクトに折り畳むこ
 とができ、収納、保管の際に長くなることもないら
 のである。

図面の簡単な説明

第1図は本考案の調整用耳あて・ヘッドホーン
 等の本体連結部に供するヘッドバンドの一實施例
 を示す對視図、第2図は調整用耳あてに應用した
 ヘッドバンドを折り畳んだ状態を示す側視図、第
 3図は耳あて本体とヘッドバンドとの連結状態を
 示す断面図である。

1……ヘッドバンド、2……強弱部、3……強
 弱ばね片、4……連結片、5……調整片、6……

第1図



第3図



(3)

実公 昭 63-20232

第2図

